

資料No.2	厚生消防常任委員会所管事務報告資料 令和8年8月 28 日 【生活環境部ゼロカーボン推進室脱炭素推進課】
--------	--

恵庭市ヒグマゾーニング計画の策定について

1. 本計画の目的

本計画は人と野生動物(ヒグマ)をすみ分ける手法として「ゾーニング管理」を行い、対応の目安などをあらかじめ定めヒグマ対策を効果的に実施することが目的。

2. 各ゾーンの定義(計画 P1)

ゾーン	エリア概要	利用の状況
コア生息地	健全な個体群の維持(繁殖や生息)を担保するうえで重要な奥山等の地域	ヒグマの存在を前提とした限定的な利用(登山など)
緩衝地帯	コア生息地と防除地域・排除地域の間の地域	ヒグマとの遭遇を想定した利用
防除地域	農業、水産業など人間活動が盛んな地域	日常的な利用があるが、人の目が届かない時間・場所も多い
排除地域	市街地、集落内の住居集合地域等の人間の居住地	日常的かつ高密度な利用

3. 各ゾーンの対応方針(計画 P1～P2)

ゾーン	ヒグマへの対応方針	ヒグマへの取組方針	対応の具体例
コア生息地	ヒグマの生息に配慮	・生息地の保全 ・問題個体以外の捕獲は行わない ※春期管理捕獲を除く	① 見守り ② 排除・防除
緩衝地帯	問題を未然に防ぐ	・捕獲による個体数の抑制	① 排除・防除 ② 箱罠捕獲
防除地域	寄せつけない・被害を防除	・誘引物の適切な管理 ・被害防止のための捕獲 ・排除地域への侵入抑制	① 箱罠捕獲 ② 排除・防除
排除地域	入らせない・入ったらすぐ対応	・市街地への侵入防止 ・緊急時の対応体制の整備	① 緊急銃猟 ② 箱罠捕獲

4. ゾーニングマップ(計画 P2)

＜恵庭市内における各ゾーンの具体的イメージ＞

ゾーン	地理的特徴	具体的なイメージ
コア生息地	日常的な人間活動がほぼ存在しない、深い原生林が広がる奥深い広大な山林地域	・西部の奥山(恵庭岳、漁岳などの山頂・深山エリア)
緩衝地帯	奥山(コア生息地)と人間活動圏(防除地域)を隔てる里山・林野。	えにわ湖西側のエリア、恵庭溪谷周辺
防除地域	山林に隣接しているが、市の施設やレジャーなどの人間活動がある地域。	市の施設やレジャー施設外縁(山から市街地へ降りてくる平地など)
排除地域	高速道路(道央自動車道)の東側に広がる居住地。	恵庭・恵み野・島松地区の住宅地、及びさらに東側に広がる農地(高速道路より東側の全域)

5. 重点推進エリア(計画 P3)

No	地域	概要
重点1	御料林道周辺エリア (市営牧場付近)	ヒグマを緩衝地帯に引き込むバイパスとなるリスクが高いルートであるため、関係機関との迅速な情報共有を重点的に強化する。